



2017年12月20日発売の
月刊美術1月号40pに
川端健太個展が紹介されています。



《untitled》 33.3×24.2cm (4F) パネル、鉛筆

川端さんは、かわうそ新人賞の第一回のグランプリに輝いた若手作家さん。卓越したデッサン力によって、まさに「生」の強い意志を野性的な眼差しに宿らせた人物像が描き出されます。生きるとは!という普通の希求を問いかけてくれます。今後のさらなる研鑽に期待いたします。(二宮真理子)



《隙間》 55×44cm 紙、鉛筆

「かわうそ新人賞」グランプリの新鋭

川端健太

Kenta KAWABATA



1994年生まれ。2013年埼玉県立川越西高等学校卒業。15年東京藝術大学油画専攻入学。現在、同大学在学中。

画廊&展示予定

銀座かわうそ画廊

〒103 (3535) 3931

東京都中央区京橋3-6-21

十合ビル3F

<http://kawausogarou.com>

▶1月20日～26日、同画廊にて個展

昨年、銀座かわうそ画廊が開催した新人発掘のコンクール第一回「かわうそ新人賞」でグランプリを獲得した川端健太。受賞作《時》は、若い女性を写実的に描いた作品。紙に鉛筆というシンプルな素材で緻密に描いたリアルな絵は、油彩の写実画とは異なる硬質な趣きを醸し出す。「ジブリのアニメ作品、リチャード・エステスの絵画など、現実味を感じるリアルを描いた作品が好きです。写真やCGにはない、手描きの魅力に価値を感じて制作しています」と画家。

2018年は得意の人物のほか風景を含む新作個展を予定。期待の受賞作家が飛躍する。